

企画

みんなでよさこいプロジェクト

今だから、“みんなのよさこい”
「第70回よさこい祭り」で心をつに!

よさこい祭りを“陰ながら支える方達による”よさこいPR動画の制作について



趣旨

よさこい祭りを陰で支える行政・民間の姿により、よさこい祭りを「高知全体」で盛り上げよう

楽しみにしている。
踊らない私たちも
みんなで一緒に、前に進むことを。

よさこい祭りは高知の夏の風物詩、鳴子を持って、お揃いの踊りで、ただ、前へ進んでいく。

今日におけるよさこい祭りは、多くの参加者・チームを有し、高知の最大のイベントとして成立しています。開催に当たっては、練習に明け暮れる踊り子、チームの運営や地方車・衣装の制作、競演場や演舞場など多数の方が数ヶ月前から関わり、高知の夏を盛り上げてくれています。そしてもちろん、このよさこい祭り本番には、多くの観光客や地元の人たちの面前には姿を見せなくても、イベントの成立を陰ながら支えてくれている方達があります。よさこい振興会や観光協会、会場の設営や裏方、雑踏警備に当たる警察官や警備員、医療機関や救急の方々など、よさこい祭りをみんなで楽しむことができ、安全安心に開催されるために欠かせない人たちも一丸となって、よさこい祭りは本当の意味で、高知全体のお祭りとなっています。

2020年、コロナ禍の影響により67年間続いていたよさこい祭りが初の中止、2021年は特別演舞が計画されましたが同じくコロナ禍による中止、2022年は11会場に分けた特別演舞という形で開催され、本年2023年、3年ぶりに“第70回よさこい祭り”が150を超えるチーム参加のもと開催される運びとなりました。

この記念すべき第70回という機会に、よさこい祭りが再び開催されるこの夏に、

「高知がひとつになった姿」

を県内外にPRしたい。高知県はひとつの大家族やき。

制作物

プロモーションビデオ 2~4分程度

使用楽曲「この地へ〜」GReeeeN

出演者 | 民間・行政等の賛同者

発表時期 | 2023年8月9日

発表媒体 | みんなでよさこいプロジェクト公式YouTubeチャンネル

経緯

みんなでよさこいプロジェクト

『みんなでよさこいプロジェクト』は、高知の大切な文化の一つであるよさこいを未来に伝えていくプロジェクトとして、また、よさこいを大好きな人達が一つになるための前夜祭・後夜祭のフィナーレを飾る総踊りを運営するため、2013年にスタートしたプロジェクト。

合わせて、高知の子供達が、親しみを持ってよさこい文化を継承出来る様に、教育現場を応援するための、よさこい囃子踊りの教材化を目指して活動を行い、2018からは沢山の方々の協力の下、高知県の教育機関全712の団体に教材を作成・配布を開始しました。

また、2020年から高知のよさこい振付の先生達が小学校へよさこい指導に行くプロジェクトもスタートしています。

みんなのよさこい“みんなよさ”

2020年、コロナ禍により67年間の歴史上初めてよさこい祭りが中止となり、多くのよさこいに関わる人たちにとって経験のない夏を迎えることとなりました。当たり前にあったよさこい祭りが当たり前でなくなった時、よさこいの『前に進む』の精神がこれまで以上に必要だと考え、実際に集まることができない環境の中、総踊りを通じた「みんなのよさこい」をとの思いで、多くの想いを集める動画配信プロジェクトを発足しました。

今だからこそ総踊り、心を一つに。

このプロジェクトには多くの賛同を得て、県内外のよさこいチームはもとより、チームを持たない学校や民間企業、行政などから製作された総踊りの動画が集まりました。

そして、そこで最も反響を得たのが、高知県警察から提供された動画「踊る警察官」でした。

高知県警察制作動画“踊る警察官”

高知県警察PV2020“踊る警察官”みんなでよさこいプロジェクト ※現在非公開

高知県警察の現役の警察官・警察職員が出演、そしてひとりの警察官が監督・制作をしたこの動画は、よさこい経験者の正調踊りに加え、ダンス経験者によるブレイクやヒップホップ、ロックを取り入れた機敏なダンスが注目を集めた上、映像の各所に散りばめられた警察からの映像によるメッセージ性に多大な共感が寄せられました。

そのメッセージとは

「よさこい祭りが中止となったことを残念がっていること」

「コロナ禍が明け、再び開催された暁には、警察が雑踏警備など本来の業務でよさこいをサポートする」

「だからまた、次のよさこいで」

といったもので、ダンスや映像の格好良さを賞賛する声のほか、

よさこい祭りが開催されている裏側には、日の目を浴びずに頑張っている警察官たちがいる

改めてよさこい祭りが高知のみんなによって開催されていると感じた

などといった好意的なコメントが数多く寄せられました。

テレビ番組、新聞報道に加え、広報専門誌などにも秀逸な地域活性PRとして取り上げられ、高知県警察の公式YouTubeチャンネルにおいて公開されたPR動画は8月の公開から12月までとわずか4か月という短い公開期間でありましたが、約160万回再生という行政(警察)PR動画としては驚異的な反響を得たものとなりました。

■ 動画の構成

ドラマパートと演舞パートの複合的な構成

ドラマパート

よさこい祭りに関する裏方的な仕事風景など、普段は表に出ない姿を取り入れます
また、よさこい祭りに関する高知中心部等の風景を織り交ぜていきます

例:会場設営の姿、ポスターを貼ったり資料を整理する姿など

演舞パート

「この地へ～」に合わせて、規定の振り付けのほか、独自の踊りを織り交ぜていきます

※参加数により楽曲のいずれかの部分を振り分けていきます

※踊りが不得意の場合も参加できる工夫を凝らします(簡易なステップや手の動作だけでも可能)

エンディング

エンドロールなどに合わせて、動画制作の趣旨が読み取れる映像を構成します

■ 制作委託

西森 達也

NIBIIRO代表

元高知県警察の警察官であり、高知県警察のPR動画制作・企画者
制作例

高知県警察PV2020「踊る警察官」

高知県警察PV2019-2021「高知の高校生オーディション」(第1～3回)

高知県警察PV2022「安藤桃子監督出演-愛ラブ高知」

高知県土木部 PV2022 「about the future」

現在はフリーランスの演出・映像作家「NIBIIRO (ニビイロ)」として活動

全国大会優勝を経験した高知の高校生バンド「RIP DISHONOR」のMV制作やアートワーク、
JEANS FACTORY・牧野植物園・アパレルブランドとのコラボレーション企画のビジュアル
ワークなど、地元高知に根付いた制作活動を行っている

■ 企画

みんなでよさこいプロジェクト実行委員会

代表 泉 創太

NIBIIRO

代表 西森 達也